

都市再生整備計画 事後評価シート
広西地区

平成26年3月

広島県呉市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	広島県		市町村名	呉市		地区名	広西地区		面積	228ha		
交付期間	平成21年度～平成25年度		事後評価実施時期	平成25年度		交付対象事業費	6.061百万円	国費率	0.375			
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路事業〔古新開弁天橋線、阿賀虹村線、大新開吉松線〕、公園事業〔弁天橋公園〕、土地区画整理事業〔古新開土地区画整理事業〕									
		提案事業	地域創造支援事業〔古新開土地区画整理事業、区画整理区域内下水道整備事業〕									
	当初計画から削除した事業	基幹事業	道路事業〔横路一丁目白石線〕		削除/追加の理由			街路事業のみではなく、住民の意見を反映し、雨水対策の整備と一体的に行うこととなり、期間内に事業完了できなくなったため				
		提案事業	なし					広地区都市計画道路整備率の指標に関連し、数値目標を修正				
	新たに追加した事業	基幹事業	なし									
		提案事業	なし									
交付期間の変更	当初変更	平成21年度～平成25年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値	目標値	数値	目標	1年以内の	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期			
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成見込み					
	指標1	買い物や生活の利便性に対する満足度	%	55.0	H20	67.7	H25	—	70.0	○	あり なし	土地区画整理事業の実施により、道路・公園等の公共施設が整備され、区画整理区域内には人口の増加と共に多くの商業施設が建ち並び、住民にとっての生活環境に対する利便性は高まっており、指標の目標達成につながった。
指標2	広地区都市計画道路整備率	%	47.5	H20	53.1	H25	—	53.1	○	あり なし	都市計画道路の整備により、市の副都心としての拠点地域のまちづくりに一定の成果を上げることができた。その結果、交通渋滞の緩和や災害に強い安全な市街地の形成を図ることができ、指標の目標達成につながった。	—
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	その他の数値指標1	単位	従前値	目標値	数値	目標	1年以内の	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期			
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1			達成見込み		
	その他の数値指標2											
4)定性的な効果発現状況	土地区画整理事業の宅地造成や道路・下水道といった整備によって、区域内では人口も増加、多くの商業施設も建設され、安心して暮らせる住環境の確保と賑わいのあるまちが形成された。住民と行政が意見を交換し合うワークショップといった住民参加プロセスを取り入れたことで、地域住民のまちづくりに対する参加意欲が向上し、今後のまちづくり活動に関わるきっかけとなった。都市計画道路による基盤整備は、災害に強い安全で快適な道路網を形成し、各拠点地区や幹線道路へのアクセス向上・渋滞の緩和に一定の成果をあげている。											
5)実施過程の評価	モニタリング	実施内容				実施状況			今後の対応方針等			
		交付期間中においてモニタリングを実施した。				都市再生整備計画に記載し、実施できた			事業削除により目標値の達成が困難となった指標について、目標値の変更等を提示し、意見聴取した。有識者からの意見聴取により、その妥当性を担保し、平成21年8月に実施した都市再生整備計画変更に反映することができた。今後においても適宜行うよう考えている。			
						都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した			●			
					都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
住民参加プロセス	古新開土地区画整理事業区域内の公園、弁天橋公園の上物整備については、ワークショップにより住民と整備方針を協議した。				都市再生整備計画に記載し、実施できた			●				
					都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した							
					都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
持続的なまちづくり体制の構築	公園については、維持管理を地元自治体に委ねる。				都市再生整備計画に記載し、実施できた			●				
					都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した			公園については地元自治体へ維持管理を委ねる。地元と連携しながら、今後も継続し、協力を得たいと考えている。				
					都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							

様式2-2 地区の概要

広西地区(広島県呉市) 都市再生整備計画事業の成果概要

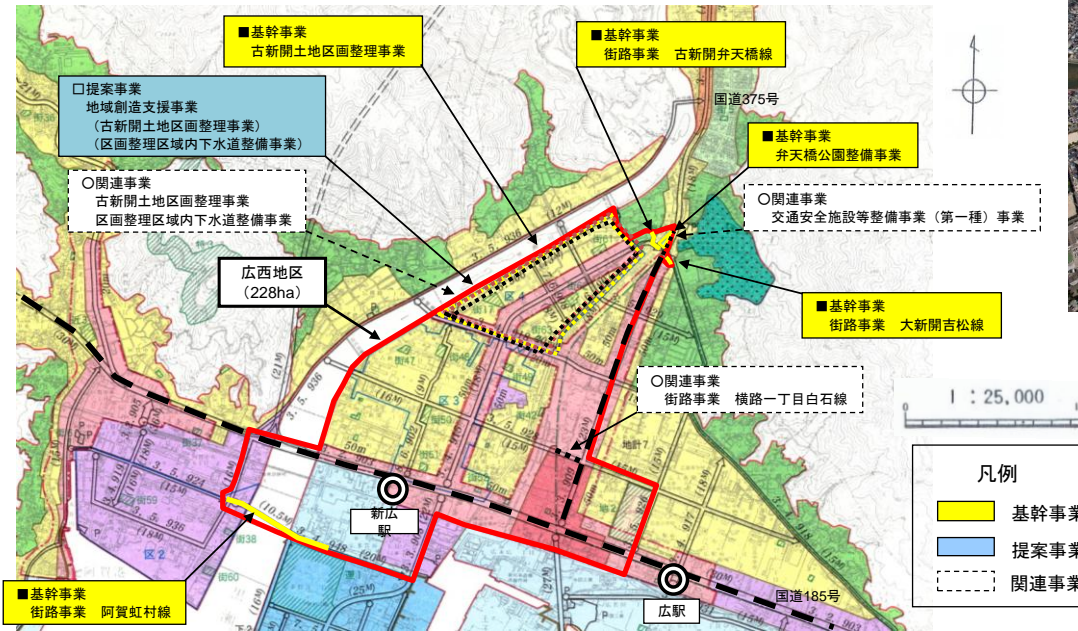
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標:住宅・住環境の改善と道路網の整備による、市の副都心としての拠点地域の創造 目標1 区画整理事業により、無秩序な既成市街地の街並みの整備、公共施設の整備改善、居住環境の整備を推進し、宅地の利用増進を図る。 目標2 道路網の整備、安全な住環境の創造や憩いの空間の整備により住みやすく住んでみたいまちづくりを推進し、にぎわいのある副都心を形成する。	買い物や生活の利便性に対する満足度	単位: %	55.0	H20	67.7	H25	70.0	H25
	広地区都市計画道路整備率	単位: %	47.5	H20	53.1	H25	53.1	H25



【古新開弁天橋線】



【阿賀虹村線】



【古新開土地区画整理事業】(H25.9撮影)



まちの課題の変化	<p>区画整理区域内は宅地造成や道路・下水道等の公共施設整備によって、安心して暮らせる住環境を確保することができており、宅地供給と共に居住者の増加が図れた。また、居住者の増加に伴い、多くの商業施設も建ち並んだことで賑わいのある新しい街並みが形成され、買い物等生活環境に対する地区の利便性が向上している。公園の上物整備について、ワークショップを行ったことで、住民にとって自分の意見が反映された愛着のある新たなコミュニティ活動の場が創出された。都市計画道路の整備により、市の副都心としての拠点地域のまちづくりに一定の成果をあげている。</p>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<p>新たに形成された良好な居住空間を最大限に生かし、地区すべての人が安全・安心に暮らせる景観にも配慮した住環境の維持と更なる賑わいのあるまちづくりを推進していく。土地区画整理事業により整備された公共施設の適切な維持・管理を図ると共に、未利用地への商業施設誘致や保留地分譲を促進することで新たな定住を促進していく。引き続き、計画的に広地区都市計画道路整備率の向上に取り組んでいく。地域に根ざした地元自治会・まちづくり団体・地域住民の活動プロセスの効果を踏まえ、継続的に行政と住民が連携し、住民参加のまちづくりを推進していく。</p>